

日 付	2019年8月5日(月)	天 候	晴れ
主な日程	市街地 市場見学・有機リンゴ農家・有機養蜂農家		
時 間	研 修 内 容	研修の写真	
8：00 市街地 市場見学	フランクフルトの市街地で市場見学を行いました。フランクフルトは昔、神聖ローマ帝国の皇帝を選び継承式を行っていた街で、歴史ある建物の並ぶ街であることなどをガイドの岡崎さんに説明していただきながら、市街地を歩きました。フランクフルトの市場では、花やソーセージ、ワインなどが売られおり、果物はブラジルのように高く積まれてはいませんが、包装されてない状態で積まれて販売されていました。今まで研修した各国の市場と比較をすることもできました。		
10：00 有機リンゴ農家	リンゴやイチゴなど250種類の果樹を有機栽培している農家を見学しました。近年は特に乾燥した環境にあることから、Tree gatorという少しずつ水を与え続けることができる特殊な袋を用い、吸水力が弱い若い木の根を助けていることを聞きました。雑草の防除については、有機栽培のため農薬で簡単に防除することはできないため、地道に除去するしかないと、アザミ科の植物を例にとり、実際に農場現場で説明を聞き、理解を深めることができました。 見学先では現在、火傷病といわれる日本では見られない、植物が罹患する病気に悩まされていました。感染している枝を剪定する様子も見学でき、病気への対処法や考え方も学ぶことができました。ここでも、フランクフルトの環境に合わせた栽培が行われていることを感じることができました。	 	
14：10 養蜂農家	ドイツ最古で最大のオーガニック団体に所属している養蜂農家を訪ねました。始めに、ミツバチが花の蜜を集めている巣箱のある農場に行きました。自然な状態を作り出すことにより、虫たちの生息する環境を整えていました。また、その状態を守るために、花畑に立ち入らないように呼びかける看板が設置されており、自然を大切にしながら行う農業を学ぶことができました。 その後、養蜂製品の作業や販売をしている場所に移動して、話を聞きました。ハチミツやミツロウ、ハチミツワインなど、様々な加工品を製造し、販売していらっしゃる様子も見学できました。 異常気象などの環境の変化によりミツバチは年々減少しつつあるそうですが、ミツバチの生態から異常気象についてまで多方面に学ぶことが、環境の変化が激しい中で養蜂を行うために大切なことであるということを教えてくださいました。これからの農業に大きく影響するであろう異常気象との向き合い方についても学ぶことができました。	 	
1日を終えて	ドイツ2日目の研修では、異常気象などの環境問題や有機農業についても学びを深めることができました。次の研修地、オランダでの研修では最先端の施設栽培を行う農家視察があります。最後まで、積極的に学ぶ姿勢を大切に取り組んでいきます。 文責：武藤 小春		